

TIG1000

安全データシート

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : TIG1000

化学物質の推奨される用途と使用制限

推奨される用途: 工業用途

使用上の制限: 知見なし

製造業者/輸入業者/販売業者 : モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社
情報 東京都港区赤坂 5 丁目 2 番 20 号
赤坂パークビル

連絡先 : commercial.services@momentive.com

電話 : 03-5544-3100

FAX 番号 : 03-5544-3101

緊急電話番号 : 03-5544-3111
0276-31-4118 (夜間・休日)

担当部門 : 製品安全管理本部

2 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類:

環境有害性:

水生環境有害性 短期 (急性) 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 1

GHS ラベル要素:

絵表示:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報: ・長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

安全対策: 環境への放出を避けること。

TIG1000

応急措置: 漏出物を回収すること。

保管: 該当なし

廃棄: 内容物および包装の廃棄については、認定施設において地域、地方、国、および国際基準に従って行うこと。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性: なし

3 組成及び成分情報

化学特性: シリコーン混和物

混合物

成分名	CAS番号	濃度*
酸化亜鉛	1314-13-2	70 - 80%

* 秘密保持のため濃度は幅で表示される場合があります。

* ガス以外の成分は重量パーセントで示す。ガスの濃度は容量パーセントで示す。

4 応急措置

全般: 症状が起きたら医師に連絡する。

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移動し安静にする。症状が起きたら医師に連絡する。

皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。洗った後に症状が出た場合は、すぐに医師の診察を受ける。

眼に入った場合: 15分以上水で十分に洗い流す。医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合: 飲み込んだ場合、吐かせない。水を1杯飲ませる。被害者の意識がない時は何も飲ませてはならない。不快感が続く場合は医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状: データなし

危険: データなし

医師に対する特別な注意事項: 対処療法及び支持療法

TIG1000

5 火災時の措置

適切な消火剤:	泡、二酸化炭素または粉末消火剤で消火する。
使ってはならない消火剤:	データなし
火災時の特有の危険有害性:	火災の場合、一酸化炭素や二酸化炭素が生成する。空気中において 150℃ 以上で加熱すると、酸化分解が進み、少量のホルムアルデヒドが発生する。
特有の消火方法:	火元への燃焼源を断ち、上記の消火剤を使用して消火する。また延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺のタンク・建物等を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
消火を行う者の保護:	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	保護具を装備していない人の立ち入りを禁止する。個人用保護具を使用する。風上から作業する。
環境に対する注意事項:	下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	大量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。少量の場合、ウエス等に吸収後、空容器に回収する。
二次災害の防止策:	着火源を除去する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）:	適切な全体換気・局所排気装置を設置する。洗眼設備および安全シャワーを設置する。
安全取扱注意事項:	換気のよい場所でのみ取り扱う。適切な保護衣および手袋を着用する。静電気放電に対する予防措置を講ずる。着火源から離して保管する—禁煙。
接触回避:	換気や他の設備対策が暴露防止上望ましい。非定常作業時や緊急時に呼吸保護具が必要になることがある。
衛生対策:	眼、皮膚、衣服への接触を避ける。取り扱った後、手を洗うこと。取扱中は飲食禁止および禁煙。

保管

安全な保管条件:	密閉し、屋内冷暗所に保管する。ラベルも参照ください。
安全な容器包装材料:	データなし

TIG1000

8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度等
暴露限界値:

化学名	タイプ	暴露限界値	規制法規等
酸化亜鉛 - 粉じん	TLV	0.025 mg/m3	安衛法：作業環境評価基準、改訂された場合はその改訂版 (04 2020)
酸化亜鉛 - 吸入性粒子。	TWA	0.1 mg/m3	日本: OEL - 濃縮基準 (ISHL 577-2 (2)、MHLW 厚生労働省基準局告示番号 0427-1) (05 2024)

保護具 (PPE)

呼吸用保護具: 換気のよい場所でのみ取り扱う。適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具: 耐化学性手袋

眼、顔面の保護具: 側面シールド安全メガネ

皮膚及び身体の保護具: 耐化学性衣服 ゴム長靴着用

9 物理的及び化学的性質

物理状態: 固体

形状: ペースト

色: 白

臭い: 無臭

臭いの閾値: データなし

融点／凝固点: データなし

沸点、初留点と沸騰範囲: データなし

可燃性: データなし

燃焼又は爆発限界の上限/下限

可燃限界－上限(%): データなし

可燃限界－下限(%): データなし

爆発限界－上限: データなし

爆発限界－下限: データなし

引火点: 300 °C

蒸発速度: データなし

自然発火点: 450 °C

分解温度: データなし

SADT: データなし

pH: データなし

粘度: データなし

動粘度: データなし

溶解度

TIG1000

溶解度（水）:	不溶性
溶解度（その他）:	不溶性
n-オクタノール／水分配係数 log Pow	データなし
蒸気圧	データなし
密度	データなし
比重	データなし
相対ガス密度	データなし

10 安定性及び反応性

反応性:	指示したとおりに使用すれば、危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性:	通常状態で安定。
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	データなし
混触危険物質:	強酸・強アルカリの接触により、重合あるいは分解が起こる。
危険有害な分解生成物:	一酸化炭素。二酸化炭素 二酸化ケイ素 金属酸化物類。本製品は、酸素を含む大気中において、おおよそ 150°C (300° F) 以上でホルムアルデヒドを発生する可能性のあるメチルポリシロキサンを含有している。ホルムアルデヒドは皮膚および呼吸器への感作性があり、眼および喉の刺激、急性毒性および癌を発生させる可能性がある。

11 有害性情報

急性毒性

経口

製品:	利用可能なデータに基づき、急性毒性に対する分類はできない。
成分:	
酸化亜鉛	LD 50 (ラット): > 5,000 mg/kg

経皮

製品:	利用可能なデータに基づき、急性毒性に対する分類はできない。
成分:	
酸化亜鉛	データなし

吸入した場合

製品:	利用可能なデータに基づき、急性毒性に対する分類はできない。
-----	-------------------------------

反復投与毒性

製品:	データなし
-----	-------

皮膚腐食性／刺激性

TIG1000

製品: データなし

成分:
酸化亜鉛 (ウサギ): 皮膚への刺激なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品: データなし

成分:
酸化亜鉛 (ウサギ): わずかに刺激性あり（ドイツ危険物規則の分類基準に該当しない）
データなし

呼吸器感作性

製品: データなし

成分:
酸化亜鉛 データなし

皮膚感作性

製品: データなし

成分:
酸化亜鉛 データなし

発がん性

製品: データなし

成分:
酸化亜鉛 データなし

日本産業衛生学会 - 発がん性物質:

発がん性成分は確認されていない。

労働安全衛生法 がん原性に係る指針対象物質:

発がん性成分は確認されていない。

ヒトに対する発がんリスク評価に関する IARC モノグラフ:

発がん性成分は確認されていない。

TIG1000

生殖細胞変異原性

インビトロ (in vitro)

製品: データなし

成分:

酸化亜鉛 データなし

インビボ (in vivo)

製品: データなし

成分:

酸化亜鉛 データなし

生殖毒性

製品: データなし

成分:

酸化亜鉛 データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品: データなし

成分:

酸化亜鉛 データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

製品: データなし

成分:

酸化亜鉛 データなし

誤えん有害性

製品: データなし

成分:

酸化亜鉛 データなし

その他の影響:

データなし

12 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 短期 (急性)

魚類

製品: データなし

水生無脊椎動物

製品: データなし

TIG1000

水生植物毒性

製品: データなし

成分:

酸化亜鉛 データなし

微生物に対する毒性

製品: データなし

成分

酸化亜鉛 EC0 (緑膿菌): 500 mg/l

水生環境有害性 長期 (慢性)

魚類

製品: データなし

水生無脊椎動物

製品: データなし

水生植物毒性

製品: データなし

成分:

酸化亜鉛 データなし

残留性・分解性

生物分解

製品: データなし

BOD/COD 比

製品: データなし

生態蓄積性

生物濃縮因子 (BCF)

製品: データなし

n-オクタノール/水分配係数 (log Kow)

製品: データなし

土壌中の移動性: データなし

オゾン層への有害性: 規制されない

その他の情報: データなし

TIG1000

13 廃棄上の注意

一般情報:	廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。下水、水路、地面に排出をしない。適切な個人保護装置に関する情報についてはセクション 8 を参照。
残余廃棄物:	本製品を廃棄する場合は廃棄物処理法に基づいて産業廃棄物と分類される。本法および地域の条例に基づいて廃棄すること。
汚染容器及び包装:	データなし

14 輸送上の注意

国際規則

IATA（航空輸送）

国連番号または識別番号:	UN 3077
国連正式輸送品目名:	環境有害物質（固体）(zinc oxide)
輸送危険有害性クラス:	9
容器等級:	III
環境有害性	
環境有害性:	Yes
海洋汚染物質:	Yes

IMDG Code（海上輸送）

国連番号または識別番号:	UN 3077
国連正式輸送品目名:	環境有害物質（固体）(zinc oxide)
輸送危険有害性クラス:	9
容器等級:	III
EmS No.:	F-A; S-F
環境有害性	
環境有害性:	Yes
海洋汚染物質:	Yes

国内規制

国内規制: 国内法に従う。

MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
製品はまとめて輸送されません。

15 適用法令

化審法:

優先評価化学物質: 規制されない

監視化学物質: 規制されない

TIG1000

化学物質排出把握管理促進法:

特定第一種指定化学物質:	規制されない
第一種指定化学物質:	規制されない
第二種指定化学物質:	規制されない

労働安全衛生法:

通知対象物質(第57条の2):	酸化亜鉛;
表示対象物質(第57条):	酸化亜鉛
がん原性物質(安衛則第577条の2第3項)作業記録等の30年保存対象物質:	規制されない
皮膚等障害化学物質 不浸透性の保護具等の使用義務物質(労働安全衛生規則第594条の2):	規制されない
有機則:	規制されない
特化則:	第一類特定化学物質: 規制されない 第二類特定化学物質: 規制されない 第三類特定化学物質: 規制されない

毒物及び劇物取締法:

特定毒物:	
法:	規制されない
政令:	規制されない
毒物:	
法:	規制されない
政令:	規制されない
劇物:	

TIG1000

法: 規制されない

政令: 規制されない

消防法: 指定可燃物（合成樹脂類）
火気厳禁

高圧ガス保安法: 規制されない

海洋汚染防止法: 規制されない

インベントリー収載状況:

オーストラリア工業化学品（届出 審査）法（AICS）:	y（収載あり）	注意: なし
日本化審法（ENCS）:	y（収載あり）	注意: なし
中国新規化学物質環境管理弁法（IECSC）:	y（収載あり）	注意: なし
韓国有害物質管理法 既存物質 リスト（KECI）:	y（収載あり）	注意: なし
カナダ環境保護法国内物質リスト（DSL）:	y（収載あり）	注意: なし
カナダ環境保護法非国内物質リスト（NDSL）:	n（収載なし）	注意: なし
フィリピン化学物質管理法（PICCS）:	y（収載あり）	注意: なし
米国有害物質規制法（TSCA）:	y（収載あり）	注意: なし
台湾化学物質清單:	y（収載あり）	注意: なし
ニュージーランド有害物質及び新生物法（NZIOG）:	n（収載なし）	注意: なし

16 その他の情報

その他の情報: 適切な保護衣、手袋および眼/顔面用保護具を着用する。

改訂情報: ARGHS_JP
発行日: 04/01/2025
SDS No.:

TIG1000

免責条項:

注意事項

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合には、貴社においてその安全性を事前にご確認のうえご使用ください。尚、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

詳しい情報

適切な保護衣、手袋および眼/顔面用保護具を着用する。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

参考文献:

データなし